

看護ゼミにゅーす 8月号

2014年8月15日看護ゼミ報告 (8/22ゼミ委員会発行)

演題「JPTEC研修に参加して学んだこと」 救急センター 福山さん



JPTECとは「Japan Prehospital Trauma Evaluation and care(病院前外傷看護)」のことを言い、防ぎえた外傷死を回避するための救急隊員の指導プログラムです。研修の内容や学びについて報告がありました。参加者からは「高エネルギー外傷とは?」「アンダートリアージとオーバートリアージの違いは?」「研修を受けたことで何が変わったか?」などの質問が出され、救急外来ならではの研修について共有することができました。

演題「絶対に帰りたい」A氏の諦めない気持ちに 心動かされて、繋がる看護 ～願いは生きる原動力～ 5西病棟 茗荷さん

当院受診の時はすでに進んだがんの状態になっていたA氏。痛みがあり衰弱が進む中、A氏から「家に帰りたい」と訴えがあり、家族も「意識がなくなってから家に帰っても意味がない」と合意。介護保険の申請、合同カンファレンス、介護指導、各部との連絡調整など在宅療養への準備を一斉に行いました。退院後訪問した看護師は、A氏に満面の笑顔で迎えてもらい、家で過ごすことが何より生きる原動力になっていると実感したそうです。



“タイミングをのがさない” 素敵な看護実践でした。

「退院調整がじゅうぶんでなくても、私たちが何とかするから任せて」と、たんぼぼ訪看スタッフより

学習「アセリオ注射液について」 緩和ケアチーム薬剤師 菊池さん



まず「がんの痛みの種類」について、痛みにはいろいろな原因が複雑に絡み合っていることや痛みの特徴が説明されました。そして非オピオイド性鎮痛薬の選択について、消化性潰瘍、腎機能障害の既往や出血傾向があっても、アセトアミノフェンは選択できることや、アセリオはアセトアミノフェンの静注用であること、その投与量や投与方法についての注意を教えてくださいました。「外科の手術後に鎮痛解熱薬として、よく使われるようになっていきます」と参加者からの発言もありました。

参加者は56名 お盆期間中で参加者が少ないと予想されていましたが、たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。今回もたくさんの学びを得られたゼミになりました。

次回の看護ゼミは9月26日(金)17~18時。演題発表は“6東”と“オペ室”、学習は“クリパスについて”です。みなさんの参加お待ちしております!